

令和7年度 第1回能登町総合教育会議 会議録

1, 日 時

令和7年6月25日 開会 午後2時00分 閉会 午後3時00分

2, 場 所

能登町役場3階 302会議室

3, 出席者 11名

町長 吉田 義法

教育長 眞智 富子

教育長職務代理者 梅 佐紀子

教育委員 上見、正人、濱高 芳美

総務課長 山下 栄治

総務課長補佐 吉田 源一郎

教育委員会事務局長 河崎 恭子

事務局次長 藪下 有紀、平 茂之、大門 孝徳

4. 会議録

(事務局長)

それでは定刻となりましたので、令和7年度第1回能登町総合教育会議を開催いたします。

開会にあたり、町長からあいさつをお願いいたします。

(町長)

～あいさつ～

(事務局長)

ありがとうございました。

本日は教育委員のみなさんにお集りいただき、ありがとうございます。

なお、上結委員は都合により欠席です。

総務課職員のほか教育委員会事務局職員の出席となっています。

よろしくお願いいたします。

それでは、早速会議を始めたいと思います。

会議の進行につきましては、町長お願いいたします。

(町長)

それでは、会議次第に基づきまして、会議を進めていきますので、ご協力をお願いいたします。

最初に、能登町教育振興基本計画について協議させていただきます。教育委員会より説明をお願いします。

(薮下次長)

～資料に沿って説明～

(教育長)

～総合教育会議において協議の上、町長判断により教育振興基本計画を大綱に代えるとするのでよいか町長に確認～

(町長)

そのとおりでよい。

(教育長)

ありがとうございます。

それでは能登町は教育振興基本計画を大綱に代えるものとして作成していきます。

～教育振興基本計画の中身について資料に沿って説明～

(町長)

教育長から説明が終わりました。

教育振興基本計画について皆さんからご意見ありませんか。

(町長)

それでは私から。

第2期計画の方針等の数と、第3期計画の数と全く同数にする必要はないのですね。

(教育長)

数を全く同じというより、内容について変えていくものは変えていく、変えてはいけないものは続けていくという考え方で作成すると、ほぼ同程度の数になると思っています。例えば DX については、しっかりと計画に反映していく。そういった新しいことについても入ってくるようになるかと思っています。

(町長)

ほか、ないようでした、次の協議に入ります。

能登町のいじめの現状と課題について説明をお願いします。

(薮下次長)

～資料に沿って説明～

(町長)

説明が終わりました。

質問、意見はありませんでしょうか。

(総務課長)

同じ子が何年も引き続きいじめに合っているという事案もあろうかと思います。

解消に向け対策を取っているかと思いますが、いじめゼロを目指して学校と連携して進めていただきたい。

(薮下次長)

いじめについて敏感になっている子が、ちょっとした言い回しでも自分のことを言っているのではないかと、捉え方もありますので見守り等、学校に指導を徹底します。

(濱高委員)

子どもたちがいじめを言えることが増えた結果、ある年からいじめ件数が多くなったと分析してよろしいのでしょうか。また、いじめと不登校が重なっている子はいるのでしょうか。

(薮下次長)

重なっているという重大事態についてはありません。

(教育長)

ある年からいじめ件数が増えてきた理由は、私がささいな事案も拾い上げるよう学校に指導した背景があります。不登校については、コロナ時に生活リズムが崩れてしまったことが不登校状態に起因しているひとつの理由かと思っています。

(梅職務代理者)

いじめを何年も訴えている子は、その子の心が暗くなっている状態でもあり、いじめ解消もさることながら、心のフォローやカウンセリングなど、心が元気になる方法を考え

ていければ。いじめであれば加害者の改善ということもあるが、心を元気にするという取組に重点を置くことも必要なのではと考えています。

(濱高委員)

不登校の子の居場所を作ってあげることも大事だと思います。以前はそのような施設もありましたが。

(拇職務代理者)

不登校になった子が教養文化館で過ごすことを手助けしたいということを、職員の方がおっしゃっていました。

(教育長)

あるアンケートによると、先生に認めてもらいたいという欲求があるということが中学生でもあることがわかっています。

町においても、昨年から今年にかけて教員とのつながりで解消したという事例があります。子どもに対して働きかけが大事だということがわかることでありますし、能登高校に子どもの居場所の学級があります。町でもそういった施設ができればとも思っております。

(町長)

治療や解消だけでなく、予防や防止が大事かとも思います。

いじめをしない子どもたちや不登校にならないような環境、学校だけではなく家庭や保育所も大事かとも思います。

私もスポーツ少年団で指導していた時期があります。当時は30人以上の子が通っていました。週に4日くらい、1日1時間から2時間の活動でした。ただその1時間ほどでも問題のある子はわかります。学校ではそういった部分を隠しているのかもしれませんが、小学生くらいだと隠せないと思います。先生たちはそれにしっかり気づいてあげるといのが大事かとも思います。自分が指導していたときもいじめがあって、見た目はいじめている子が悪く見えますが、きちんと両方の声を聴くことが大事であると思います。その結果、自分のときはなくなったと思っています。いじめられている子は先生や指導者にわかって欲しいと訴えています。しっかり守ってあげることが必要だとも思います。

中学生の不登校の子で進学していますか。進学後もどういう状態かは把握していますか。

(藪下次長)

昨年度で言えば、ひとりだけ進学していません。進学した子については把握していません。

(教育長)

進学後の状態については噂などで耳にする程度です。もちろん個人情報になるので高校から積極的に情報提供はないです。逆に高校になったら登校を続けているという事案もあります。

(町長)

高校から登校できるようになっても、小中学校では根本的に解消された訳ではないのですよね。やはり小規模校というものも影響があるのではないのでしょうか。昔は人数もいたから嫌な子とは接触を避けることもできたし、クラス替えで離れることもできたことで解消できることがあったかと思います。児童生徒数の割には件数が多いことに驚いています。

(町長)

ほか、ないようでした、次の協議に入ります。

部活動等の地域展開について説明をお願いします。

(大門次長)

～資料に沿って説明～

(町長)

説明が終わりました。

質問、意見はありませんでしょうか。

(町長)

私から発言させていただきます。ニーズに応えたくスクールバスを延線したいというのですが、小学校の5校はともかく中学校は早く1校にすればどうかと感じます。その方が部活動だけでなく学習面も好影響があるのかなと考えています。

(大門次長)

中学校の統合に関しては、令和9年度に松波中が能都中に統合。令和10年度から柳田中の統合の準備を始める予定となっております。能登町立小中学校適正規模・

適正配置に関する基本方針に当てはまってくる時期がその辺りになります。ですのでゆくゆくは中学校が1校になると思っております。

話は若干それますが地域展開となっている部活は能都中の部活だけですので、中学校が能都中1校になれば地域展開はさらに進んでいくと思っています。

(町長)

部活動の加入については今は必須ではないのですか。

(教育長)

学習指導要領的にも昔は教育課程のひとつとして位置づけられていたものが、今はそうでなくなっています。そういった事情から石川県の方針が部活動については推奨ということになっております。町もそれに合わせて推奨としております。

(町長)

自分で選択できることはいいことですが、それによって帰宅してからの生活が心配です。自分が子どもの頃は友達と遊んだり、ひとりであることは少なかったですが、今はどうなのでしょう。

(教育長)

環境的に家では携帯電話など自分で楽しむ方法が増えています。中には自分でゲームを作る子もいます。

また、部活に入らなくても学校の図書室で勉強をしたいという子もいます。

(濱高委員)

運動が苦手であるということで部活に入りたくない子が公民館等に行けば、例えばお花やお茶、習字など文化的なことできる環境があればいいと思います。

また送迎のニーズについては部活というよりスポ少の方ががあると説明ありましたが。

(大門次長)

実際はスポ少からの要望があります。部活の地域展開については行政の方で進めていることなので、もし地域展開となれば校区外から練習拠点に集まることになる。そういった移動の担保はしてくれないのかと、将来的なことを踏まえた要望はあります。

(濱高委員)

今予想されるスクールバス路線の延線がこれだけあると。地域展開が増えていった場合、また校区外のスポ少に入りたいから、もっと路線を増やして欲しいという話にならないでしょうか。

(大門次長)

指導者の方がどの時間帯に練習をするのかにもよりますが、今のところは日中にしかできない屋外競技しかニーズはないのかなと思っています。実際、野球とテニスについては指導者の方が日中練習しています。

屋内競技については夜に練習できますし、実際に指導者の方が自分の仕事が終わってから練習しております。送迎についても保護者が仕事が終わってからできるので、濱高委員が心配するような全ての競技からのニーズはないだろうと思っています。

(町長)

運動部と吹奏楽部しかないのですね。

(拇職務代理者)

文化部については例えば英語部など学校でつくることもできます。

(教育長)

ただし、今は教員働き方改革で新たな部の設立は能登町では認めておりません。しかしながら先ほども述べましたが、部活に入らず図書室で勉強したいという子が、例えば英語を教えて欲しいということであれば教員で対応するという体制は整えています。

(町長)

文化部がもう少しあればいいのになというのが率直な思いです。
顧問がつきっきりでなくても自分達で活動するとか。

(濱高委員)

地域でできればいいですね。公民館とか。

(教育長)

まさしくそれが地域展開です。地域でクラブを作って見てもらえるようになればいいですよ。

(町長)

ほかないようでしたら、これで本日の議題は全て終わりました。

議題以外に発言や協議したいことがあればお願いします。

(母職務代理者)

中学校の統合について地域の方と話をしていると、やはり通学手段について心配をされている。部活動の地域展開についても行政として移動手段の確保については必要だなと感じています。

(河崎局長)

通学手段や地域展開後の交通手段については十分に考えていきたいと思います。

(教育長)

統合の際に地区からこういった要望が出てくるのか、例えば今朝の新聞記事にありましたが AI タクシーのようなものが活用できるようになったり、柳田地内ですとスクールバスが住民混乗バスで走っていますが、能都中まで直通ルートを作ることができなければもちろん手立てをしないといけません。

(濱高委員)

保小中高で育てていくという考えで、保育所と小学校の連携が大事だと思っています。

私が現役のときにそういった場を設けようと思いましたが、保育所の所長を出張扱いにしなければいけないなど、いくつかまとめなければならない事項があって諦めたということがありました。

役場の課を横断した保小の連携を図り、研究会など立ち上げることはできませんか。

(総務課長)

新たにそういった部署を設けるといったことはなかなか難しいですが、課を横断した柔軟な連携はできますので、教育委員会事務局と健康福祉課でそういった研究会を立ち上げようというのは可能です。しかしながら震災復興にかなりの手を取られているのが現実ですし、今すぐに形にしようというのは難しいかと思います。しかし難しい難しいと言っているうちに子どもたちは成長していくので歯がゆい思いです。

(町長)

校長をされていた委員がそう感じているのであれば、やはり必要なことであると感じますし、連携してやっていくべきのことであると思います。

(町長)

ここで予定している時刻になりました。いろいろと協議や意見をいただき、本日はありがとうございました。これで会議を終わります。